

日々の暮らしの中で知っておきたいことなどをお知らせします。詳細については、阿南市消費生活センターにお尋ねください。

くらしに役立つ 消費者情報

困ったな!おかしいな!と思ったらすぐ相談!

阿南市では、平成22年4月に「阿南市消費生活センター」をJ R 阿南駅前・社会福祉会館3Fに開設し、市民の皆様方から商品や事業者とのトラブル等様々な相談を受けると共に、自立した賢い消費者の育成のため、消費者行政の充実・強化に努めてきました。

また、平成28年9月1日に策定された南阿波定住自立圏共生ビジョンの中で、結びつきやネットワークの強化に係る政策分野の中で具体的な取り組みとして、近年高齢者をターゲットにした振り込め詐欺や悪質商法などで被害に遭うケースが急増していることから、このような巧妙な手口に対して、圏域住民が知識を備えたり、被害を最小限に抑止できるよう、阿南市が設置している消費生活センターを圏域全体で活用し、安心して消費活動ができるよう今後も引き続き努めていきたいと考えております。

南阿波定住自立圏共生ビジョン連携行政 阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町

二十歳に成り立ての 若者のトラブル!

全国の消費生活センター等に寄せられる相談をみると、二十歳になった若者(成人)からの相談件数は未成年者と比べて多く、その契約金額も高額です。また、未成年者のトラブルではあまり見られなかった「サイドビジネス」や「マルチ取引」、「エステティックサービス」に関する相談が多く寄せられているという特徴がみられます。

また、SNSを通じて知り合った人から儲け話をもちかけられたり、高額な契約をさせるために借金を勧めたりするという事例が少なくありません。社会経験が乏しい若者を狙い撃ちする悪質な業者もいるため注意が必要です。



消費者へのアドバイス

- いったん結んだ契約は「やっぱりやめたい」と思っても容易にやめることはできません。後々後悔しないためにも、安易な気持ちで契約することはやめましょう。
- 「簡単に儲かる」という業者の言葉を信じたら騙されたという事例が後を絶ちません。簡単に大金を稼げるということはありませんので、業者の甘い言葉をうのみにせず、契約前に身内や友人に相談するなどしましょう。
- 「今日なら安くなる」、「とりあえずサインだけして」などとその場で契約を迫る業者がいます。業者にせかされるまま高額な契約をすることは非常に危険です。不必要な契約はきっぱり断ってください。

本文：独立行政法人国民生活センター

お気軽にお電話ください

阿南市消費生活センター

☎ 24-3251

相談時間：月～金曜日 9:30～16:30
休館日：土・日・祝日・年末年始

阿南市富岡町今福寺40番地17 (JR阿南駅前・社会福祉会館3F)

アダルトサイトにアクセスしたら、カメラのシャッター音が!

事例

友だちとスマートフォンでいろいろなサイトを見ていたらアダルトサイトにつながり、シャッター音がして、請求画面が表示され、高額な金額を請求された。ネットで調べたところ、「シャッター音が鳴ったら、カメラで撮影されるだけでなく、いろいろな情報が流出してしまう」と書かれていたので不安になった。
(中学生 女性)



ひとことアドバイス

- アダルトサイトに関する相談が多く寄せられており、中には、サイトにアクセスすると同時にカメラの「シャッター音」を鳴らすことにより、消費者の不安をあおり、登録料等を請求するケースが報告されています。
- シャッター音がしても、スマートフォンのカメラ機能が使われたり、撮影した写真が業者に送信されたりすることはありません。慌てて業者に連絡をしてはいけません。
- アダルトサイトには不用意にアクセスしないことが第一です。サイト内のボタンもむやみにクリックやタップをしないようにしましょう。
- 日ごろからインターネットの使い方について、親子でよく話し合っておくことも大切です。
- 心配なときは、連絡をしたりお金を支払ったりする前にお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください（消費者ホットライン 188）。

本文：独立行政法人国民生活センター

子どもの歯磨き中 のど突き事故などに気を付けて!

事例1

歯ブラシを口にくわえてソファに座っていたが、前のめりに転落し歯ブラシが刺さった。親が歯ブラシを抜き、歯医者に行ったが、その後、発熱し首に腫れもあったので、別の病院を受診したところ入院となった。(当事者1歳)



事例2

歯ブラシをくわえて走っていたところ転倒し、歯ブラシがのどに突き刺さり、口の奥から出血した。血は自然に止まったが、発熱し、元気がないため救急外来を受診し、8日間入院した。(当事者4歳)



ひとことアドバイス

- 歯磨き中に歯ブラシをくわえたまま転倒し、のどを突くなどしてけがをしたという事故が報告されており、特に、1歳から3歳頃の子どもの多くに見られます。
- 歯磨き中は保護者がそばで見守り、床など安定したところに座らせて行いましょう。
- 歯ブラシを口に入れたり、手に持ったまま歩かせたりしないようにしましょう。
- 子ども用歯ブラシは、のど突き防止カバーなどの安全対策を施したものを選ぶようにしましょう。

本文：独立行政法人国民生活センター